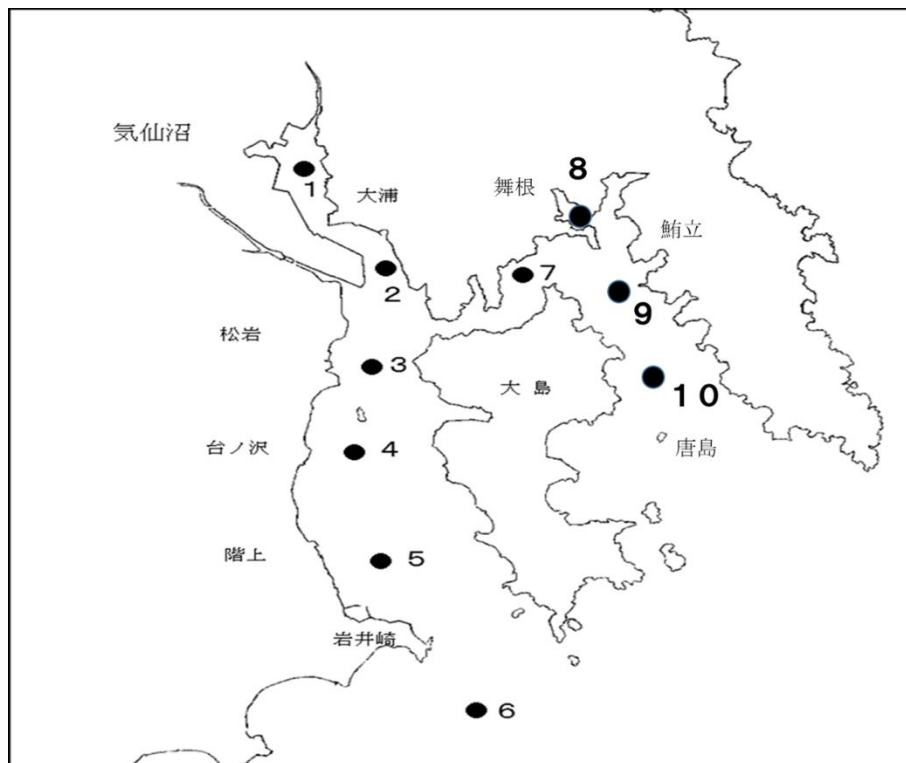


## 気仙沼湾水質分析結果概要

○調査日時 令和4年10月3日

○概要

- 1) 水温：表層で21.2～22.5℃，底層で18.8～21.0℃の範囲にあった。
  - 2) 塩分：表層で32.4～33.4，底層で33.6～33.8の範囲にあった。
  - 3) pH：7.90～8.09の範囲にあり，全点で水産用水基準（7.8～8.4）を満たしていた。
  - 4) COD：0.1未満～1.4 mg/Lの範囲にあり，全点で水産用水基準（閉鎖性内湾：2 mg/L以下）を満たしていた。
  - 5) DO：3.9～8.0 mg/Lの範囲にあり，St.1大浦（水深5m，底層），St.2梶ヶ浦（底層），St.3松岩（水深10m，底層），St.7日向貝（底層）で水産用水基準（6.0 mg/L以上）を満たしていなかった。
  - 6) プランクトン沈殿量は0.9～5.3 ml/m<sup>3</sup>の範囲にあった。
  - 7) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。
    - リン酸態リン（PO<sub>4</sub>-P）： 2.6～84.9 μg/L
    - アンモニア態窒素（NH<sub>4</sub>-N）： 2.7～61.2 μg/L
    - 亜硝酸態窒素（NO<sub>2</sub>-N）： 0.1～44.4 μg/L
    - 硝酸態窒素（NO<sub>3</sub>-N）： 0.6～77.8 μg/L
    - （三態窒素※ 3.5～174.4 μg/L）
- ※三態窒素とはアンモニア態窒素，亜硝酸態窒素，硝酸態窒素の合計です。



調査点図

